

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 清和中央ホールディングス株式会社
 コード番号 7531 URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阪上 正章
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)阪上 恵昭 (TEL)06-6581-2141
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	32,334	21.2	177	△68.0	260	△58.6	166	△57.7
2022年12月期第2四半期	26,679	38.2	555	28.4	628	26.6	392	19.6

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △0百万円 (-%) 2022年12月期第2四半期 448百万円 (3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	42.26	—
2022年12月期第2四半期	99.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	43,028	15,940	36.5
2022年12月期	47,190	16,059	33.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 15,697百万円 2022年12月期 15,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	55,000	△4.4	570	△29.3	680	△26.7	440	△27.9
								111.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	3,945,100株	2022年12月期	3,945,100株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	8,009株	2022年12月期	7,409株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	3,937,448株	2022年12月期 2 Q	3,938,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下で経済活動は徐々に正常化へ進み、インバウンドによる人流増の効果もあり、個人消費やサービスは持ち直しの動きがみられました。また自動車を中心とした製造業の一部では、部品の供給制約緩和もあって、回復の兆しがみられました。しかしながら、歴史的な物価上昇は長期化しており、所得改善の流れはあるものの、実質賃金はマイナスの状況が続き、更には国内景気にとっても大きな押し下げ要因となり得る世界的な金融引締めが継続しており、先行きの警戒感は一層強まりました。

鉄鋼業界におきましては、半導体供給不足の改善が窺われた自動車関連は回復の動きがみられましたが、建築関連は不振が続く中小建築だけでなく、堅調に推移していた大型建築も人手不足等の影響もあって、盛り上がり欠ける状況が続きました。一方、昨年まで急騰していた鉄鋼価格は、海外価格との乖離や原料価格の下落もあり、一転して軟調に推移し、当社グループが属する鉄鋼流通業界では、価格転嫁を満足に出来ない中での修正局面となりました。

このような経営環境下において当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かい営業活動を展開してまいりました結果、東日本地区における鉄骨加工の完工増加等が寄与し、第2四半期連結累計期間の売上高は323億34百万円（前年同期比21.2%増）となりましたが、利益面は在庫品の販売スプレッド縮小に加えて、東日本地区における鉄骨工事関連で外注費用等の追加コストが収益を圧迫し、営業利益は1億77百万円（前年同期比68.0%減）、経常利益は2億60百万円（前年同期比58.6%減）、法人税等を差引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は1億66百万円（前年同期比57.7%減）の結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ41億61百万円減少し、430億28百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が17億71百万円、前渡金が12億36百万円、商品が2億2百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ40億42百万円減少し、270億88百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が26億59百万円、短期借入金が11億円、前受金が3億96百万円減少したことによるものであります。

この結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円減少し、159億40百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億64百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、14百万円増加し、11億66百万円（前年同期末10億73百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、13億65百万円（前年同期は6億62百万円獲得）となりました。これは主に、仕入債務の減少額26億59百万円があったものの、売上債権の減少額17億71百万円、前渡金の減少額12億36百万円、未収入金の減少額4億52百万円、未収消費税等の減少額4億41百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億28百万円（前年同期は1億73百万円使用）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出1億24百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、12億22百万円（前年同期は4億44百万円使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額11億円、配当金の支払額1億17百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績につきましては、2023年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,689	1,170,656
受取手形及び売掛金	19,064,460	17,292,874
商品	7,235,044	7,032,443
前渡金	7,527,270	6,291,094
その他	1,511,366	579,495
貸倒引当金	△77,097	△69,889
流動資産合計	36,416,732	32,296,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,633,683	1,639,477
土地	5,130,237	5,130,237
その他（純額）	731,344	707,890
有形固定資産合計	7,495,265	7,477,605
無形固定資産	734,574	810,964
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,177	3,600
その他	2,540,266	2,439,754
投資その他の資産合計	2,543,443	2,443,354
固定資産合計	10,773,283	10,731,924
資産合計	47,190,016	43,028,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,898,649	16,238,652
有償支給取引に係る負債	1,659,724	1,544,558
短期借入金	3,650,000	2,550,000
未払法人税等	129,145	104,636
賞与引当金	24,733	88,228
役員賞与引当金	43,000	21,000
前受金	4,540,631	4,144,343
その他	516,668	807,269
流動負債合計	29,462,553	25,498,689
固定負債		
繰延税金負債	978,414	874,831
役員退職慰労引当金	280,670	288,620
退職給付に係る負債	205,331	222,649
その他	203,746	203,539
固定負債合計	1,668,162	1,589,640
負債合計	31,130,715	27,088,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,562	767,562
資本剰余金	633,602	633,602
利益剰余金	13,471,444	13,519,707
自己株式	△26,112	△26,112
株主資本合計	14,846,497	14,894,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967,620	802,871
その他の包括利益累計額合計	967,620	802,871
非支配株主持分	245,183	242,636
純資産合計	16,059,301	15,940,268
負債純資産合計	47,190,016	43,028,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	26,679,333	32,334,845
売上原価	23,908,540	29,774,133
売上総利益	2,770,792	2,560,711
販売費及び一般管理費	2,215,231	2,382,788
営業利益	555,561	177,923
営業外収益		
受取利息	711	983
受取配当金	16,479	43,195
仕入割引	30,521	22,782
助成金収入	15,130	—
その他	14,448	20,862
営業外収益合計	77,291	87,823
営業外費用		
支払利息	2,909	4,479
その他	1,083	1,007
営業外費用合計	3,992	5,487
経常利益	628,860	260,259
特別損失		
固定資産除却損	—	4,485
特別損失合計	—	4,485
税金等調整前四半期純利益	628,860	255,774
法人税等	231,299	91,870
四半期純利益	397,560	163,904
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,618	△2,489
親会社株主に帰属する四半期純利益	392,942	166,393

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益	397,560	163,904
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50,947	△164,110
その他の包括利益合計	50,947	△164,110
四半期包括利益	448,508	△205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443,935	1,644
非支配株主に係る四半期包括利益	4,572	△1,850

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	628,860	255,774
減価償却費	143,356	144,340
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,049	△7,207
受取利息及び受取配当金	△17,190	△44,179
助成金収入	△15,130	—
売上債権の増減額 (△は増加)	108,965	1,771,586
支払利息	2,909	4,479
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,295,885	202,601
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,011,227	△2,659,996
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,106,385	1,236,175
前受金の増減額 (△は減少)	3,417,769	△396,288
未収入金の増減額 (△は増加)	△236,693	452,666
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△24,549	441,140
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,270	245,039
有償支給取引に係る負債の増減額 (△は減少)	645,175	△115,166
その他	△125,500	△100,019
小計	1,154,150	1,430,946
法人税等の支払額	△524,051	△161,739
法人税等の還付額	14,707	96,140
助成金の受取額	18,014	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	662,820	1,365,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△228,908	△52,516
無形固定資産の取得による支出	△55,581	△124,203
貸付金の回収による収入	82,724	4,271
利息及び配当金の受取額	17,173	44,139
その他	11,462	193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,129	△128,114
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△276,000	△1,100,000
利息の支払額	△2,862	△4,236
配当金の支払額	△162,462	△117,733
非支配株主への配当金の支払額	△2,786	△696
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444,111	△1,222,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	38
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,648	14,604
現金及び現金同等物の期首残高	1,028,345	1,151,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,073,993	1,166,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,577,456	13,089,706	12,170	26,679,333	—	26,679,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,825	3,587	555,246	561,659	△561,659	—
計	13,580,282	13,093,293	567,416	27,240,992	△561,659	26,679,333
セグメント利益	408,428	189,045	358,496	955,970	△327,110	628,860

(注) 1. セグメント利益の調整額△327,110千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,727,365	17,595,414	12,065	32,334,845	—	32,334,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	340	14,802	505,941	521,083	△521,083	—
計	14,727,705	17,610,216	518,007	32,855,929	△521,083	32,334,845
セグメント利益又は損失(△)	272,635	△97,557	303,289	478,368	△218,108	260,259

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△218,108千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。